

令和4年度

第3回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和4年5月13日（金）
開会13時30分 閉会13時57分

場 所 教育委員室

令和4年度
第3回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 報 告

① 令和5年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当）
採用選考試験実施要項について

② 令和4年3月卒高等学校新規卒業者の就職状況について

(2) その他

【内 容】

1 出席者

教育長	岡 本 天津男
委 員 委 員 (教育長職務代理者)	林 浩 昭
委 員	岩 崎 哲 朗
委 員	高 橋 幹 雄
委 員	高 鈴 木 恵 代
委 員	岩 武 茂 代
事務局 理事兼教育次長	渡 辺 登
教育次長	三 浦 一 雄
教育次長	内 海 真理子
教育改革・企画課長	重 親 龍 志
教育人事課長	大 和 孝 司
高校教育課長	山 田 誠 司
教育改革・企画課 主幹 (総括)	新 貝 隆
教育改革・企画課 主査	得 丸 祐 輔
教育改革・企画課 主任	安 長 理 生

2 傍聴人

1 名

開会・点呼

(岡本教育長)

委員の出席確認をいたします。

本日は、全委員が出席です。

それでは、ただ今から、令和4年度第3回教育委員会会議を開催します。

署名委員指名

(岡本教育長)

本日の議事録の署名については、林委員にお願いします。

会期の決定

(岡本教育長)

本日の会議はお手元の次第のとおりです。会議の終了は13時48分を予定していますので、よろしくをお願いします。

議 事

【報 告】

① 令和5年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当） 採用選考試験実施要項について

(2課〔教育改革・企画課、教育人事課〕入室)

(岡本教育長)

それでは、報告第1号「令和5年度教員、民間人校長及び教育庁職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項について」教育人事課長から説明をしてください。

(大和教育人事課長)

4月に協議をしました「令和5年度大分県公立学校教員採用選考試験」の実施要項が、お手元のだいたい色の冊子のとおりにとまりました。5月6日に大分県教育委員会のホームページに掲載するとともに、報道発表、実施要項の配布を

行っております。

なお、お手元の冊子「募集案内」とともに、県内外の大学等に配布し、試験内容の周知を図るとともに、受験者数の確保につなげたいと考えております。

また、実施要項についての説明や大分県の教員の魅力を伝えるために、SNSを活用した広報としてTwitter（ツイッター）による情報発信や「教育庁チャンネル」における動画配信を行うとともに、オンライン形式による説明会を4回実施いたします。

さらに、若者の県内就職の促進を担当する「雇用労働政策課」と移住促進を担当する「おおいた創生推進課」に対しての情報提供や、県立学校の同窓会への広報の依頼などにより、PRに努めていきたいと考えています。

次に、お手元の資料「民間企業等での管理職経験者を対象とした令和5年度大分県公立学校『校長』採用候補者選考試験実施要項」をご覧ください。

教員採用選考試験と同様に、5月6日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表、実施要項の配布を行っております。また、お手元のチラシ「大分県公立学校民間人校長募集」についてもホームページに掲載しております。県内経済団体、県外の大分県人会への周知依頼、全国都道府県教育委員会等への要項送付、全国版の新聞への広告掲載などをおして人材確保に努めていきたいと考えております。

次に、お手元の資料「令和5年度大分県教育庁等職員（埋蔵文化財担当）採用選考試験実施要項」をご覧ください。

これについても、5月6日に大分県教育委員会のホームページで公表するとともに、報道発表、実施要項の配布を行っております。

報告は、以上です。

（岡本教育長）

ご質問・ご意見はありませんか。

（林委員）

教員免許状を持っていなくても、特別免許状により教員として働くことができるという報道がありましたが、大分県の状況はどうですか。

（大和教育人事課長）

特別免許状は従来も授与していますが、授与の多くは私立高校の看護科に関係した授与となっています。

中学校の家庭や技術、音楽などの専門的な教科で欠員が生じています。今後は専門的な教科において特別免許状を活用する可能性はあると考えています。

文部科学省から特別免許状の授与の基準について都道府県ごとに整理するように連絡がきていますので、そのあたりも踏まえて検討していきたいと考えています。

(鈴木委員)

Twitter (ツイッター) や動画配信のアクセス数はどのような状況ですか。

(田所主幹 (主幹) [教育人事課])

現在、Twitter (ツイッター) のフォロワーは132となっています。今後もアクセス数などを増やしていきたいと考えています。

② 令和4年3月卒高等学校新規卒業者の就職状況について

(2課 [教育改革・企画課、高校教育課] 入室)

(岡本教育長)

次に、報告第2号「令和4年3月卒高等学校新規卒業者の就職状況について」高校教育課長から説明をしてください。

(山田高校教育課長)

「令和4年3月高等学校新規卒業者の就職状況について」報告します。

資料をご覧ください。紹介就職のみを対象とした、大分労働局のデータを元にまとめた資料です。

「1 紹介就職【内定者数、内定率、未内定者数】推移(年別)」の表は、紹介就職の内定者数、内定率、未内定者数の年次毎の推移を示したものです。高校卒業生数の減少に伴い、就職希望者数及び就職者数は減少となりましたが、令和4年3月末の就職内定率は99.4%であり、昨年度より0.1ポイント増加し、高い水準を維持しております。各学校において、生徒の希望進路に応じたきめ細かな指導の成果であるとともに、令和4年3月末の求人倍率が2.05倍であることから、求人状況が高いことも要因の一つであると考えられます。また、令和4年3月末の就職未内定者数は13名となっております。未内定者については、卒業後も各学校の卒業生相談窓口等が中心となり、生徒の希望進路達成に向け、ハローワークや関係機関と連携し、引き続き就職支援を行っています。

次に、「2 県内就職状況(R4.3月末)」です。県においては人口減少が喫緊の課題であり、地方創生を担う人材の育成が最重要課題の一つとして位置づけられています。そのなかで就職内定者のうち県内で内定した者の割合は76.6%で、昨年度同時期と比べ1.3ポイント増となっております。これは、コロナ禍の影響による県内志向に加え、県内企業説明会のオンライン化等の取り組みや工業科に配置したキャリアプロデューサーの成果によるものだと考えています。資料には記載していませんが、工業科の県内就職率は昨年度より6.8ポイントの増加と顕著な成果をあげました。また、キャリアプロデューサーによる企業開拓により、県内の就職先の裾野拡大も成果として挙げられます。令和3年度は、昭和電工武道スポーツセンターやマリンカルチャーセンター等の特殊な形

状の屋根を施工した実績を持ち、屋根の施行技術では全国トップクラスの地元企業に、建築を学んだ生徒が技術者として、10数年ぶりに就職しました。令和4年度はさらなる就職支援のためにキャリアプロデューサーを令和3年度の2名から2名増員し、中津東高校及び日田林工高校に新たに配置したところです。

県教育委員会の取組としては、資料の下に記した①～③を実施し、生徒の就職支援を行っています。このうち①～②は高校教育課と大分労働局、商工観光労働部との連携で取り組んでいるものです。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を把握するために、令和4年度も9月から学校訪問を実施する予定です。学校訪問等を継続的に行いながら、各学校が生徒一人一人の希望進路の実現に向け、きめ細かな進路指導を行えるように支援していきます。

(岡本教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(高橋委員)

二点質問があります。一つ目は、未内定者数13名の未内定の原因は何が考えられますか。また、二つ目は大分県の高校を卒業した生徒の離職率はどのくらいですか。

(山田高校教育課長)

13名の未内定者のうち、県立高校の生徒の例として、就職予定先の事業所の業務形態の変更により、生徒の希望する事業所に勤務できなくなったことから生徒が断った例があります。

(松田指導主事〔高校教育課〕)

離職率については、大分労働局のデータでは事業所の主たる所在地で離職者を計上しているため、大分県の高校を卒業した生徒の離職率は不明です。

(高橋委員)

高校は生徒を社会に送り出すことから、大分県の高校を卒業した生徒の離職率を把握していた方が産業界に様々な提案ができると思います。

(岡本教育長)

各高校では、卒業生と連絡を取っているということによいですか。

(松田指導主事〔高校教育課〕)

各高校では、卒業生と連絡を取っています。

(岡本教育長)

県外に就職した卒業生のなかで、やむを得ず離職した卒業生については、在籍

していた高校に相談の連絡をすることで、高校やキャリアプロデューサーの協力のもと、県内での再就職につなげるということによいですか。

(山田高校教育課長)

県内の高校を卒業し、離職した生徒への支援体制として、各学校において卒業生相談窓口を設置しており、令和3年度の相談件数は33件となっています。相談窓口への相談内容は、雇用条件や職場環境、人間関係など多岐に渡っています。相談内容への対応については、ハローワークや関係機関との連携を密にしながら支援を行っています。

(高橋委員)

人間関係は仕方ないですが、雇用条件が最初と違うことについて、相談した方が企業に指導もできます。優秀な人材は大分県に残って欲しいので、相談できる仕組みづくりをしてください。

(鈴木委員)

企業側から高校へ卒業生が離職したとの連絡があり、初めて高校が離職したことを知る場合もあると思います。私の子どもの同級生も学校が推薦をして、企業に就職したが、一ヶ月も経たずに辞めてしまうことが多いです。そのことを聞いた高校の先生はショックを受けます。卒業生も離職をすると高校には相談しにくいです。高校側には、困ったらいつでもフォローをするという体制をもう少し作って欲しいです。そのことで卒業生の不安も少し払拭できると思います。社会に初めて出ることによるギャップを感じることもたくさんあると思います。保護者にも就職後に困ったことがあった際の相談体制をお知らせして欲しいです。卒業生や保護者にとって頼れる場所があることはとても心強いです。また、社会に出たときに感じるギャップを卒業生と高校が共有した方がいいと思います。共有することにより就職活動に良い影響があるのではないかと思いますし、離職率も下がるのではないかと思います。

(林委員)

一次産業への就職状況は把握していますか。

(山田高校教育課長)

求人数では一次産業の数は少ないです。今年度、求人数が伸びているのは製造業です。新型コロナウイルスの影響もあり、サービス業はあまり伸びていない状況です。

(林委員)

求人数はあまりないかもしれませんが、一次産業はとても重要です。若い労働者が欲しいという企業もあるので、一次産業の求人については注視して欲しいと

思います。

(岡本教育長)

農業科がある高校については、企業見学などで生徒に一次産業を見学させることが必要だと思っています。より一層の取組が必要だと思っています。

(鈴木委員)

新型コロナウイルス感染拡大前は、さまざまな農業科の高校生が私の勤務する会社に見学に来ていましたが、新型コロナウイルス感染拡大によりほとんど見学に来ていない状況です。私が勤務する会社は屋外での作業がほとんどなので、マスクを着用しての見学であれば問題ありません。高校生には安心して見学に来て欲しいと思います。見学をしないことは高校生にとって大きな損失であると思います。他の県や海外に行かなくても、私が勤務する会社は全国のなかでも、規模も大きく栽培をしているので是非見学に来て欲しいです。大分県においても、農業で起業をし、事業として成立するということが高校生には見学することで理解して欲しいです。

(岩武委員)

10年以上前から3年以内の離職が問題になっていますが、社会の状況が変化するなかで、現在は終身雇用ではなく、離職もあり得ることが前提という時代になっています。今後の高校教育を考えると、どのような生徒を育てるのかを考える必要があると思います。これまでの高校教育では、生徒に技術を習得させるとともに、職業観を育成することで、就職した会社で活躍ができるように取り組んできたと思います。

今後は入社後に条件が合わないことや人間関係がうまくいかないことなど、様々なことが起きることを前提に、高校生にどのような力を身に付けさせていくのかを考えていく必要があると思います。様々な価値観を許容するような教育を行っていく必要があると思います。

(岡本教育長)

令和4年3月卒業者の未内定者数13名は、資料をみると過去10年間で最小ですが、それ以前のデータはありますか。

(山田高校教育課長)

資料に記載している以前のデータは現在手元にはありません。

(岡本教育長)

未内定者数は過去10年間に於いて最小ということですね。

(岡本教育長)

それでは、これで令和4年度第3回教育委員会会議を閉会します。
ありがとうございました。